

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立小松小	学校
---------	----

児童数	113
-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.09	20.87	31.15	40.08	40.30	9.74	156.96	20.83	51.46
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.07	18.57	35.20	36.98	29.89	10.13	137.95	12.22	51.11
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男子では、「握力」「上体起こし」「立ち幅とび」、女子では、「上体起こし」のみ大阪市平均、全国平均を上回ったが、その他の項目では全て全国平均を下回った結果となった。特に全国平均と差が出たのが、「20mシャトルラン」で、男子では全国平均と比べると約7.6ポイント、女子では約6ポイント下回っていることがわかった。しかし、昨年度の本校の記録と比較すると、男女ともに「反復横とび」の項目では上回っている。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で、最も肯定的回答は男子が67.3%、女子は53.3%となり、全国と比べ男子は5.4%、女子は0.8%下回った。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」では、全国平均を男子は1.8%上回ったが、女子は5.4%下回った。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、長年俊敏性の記録の向上を目指してきた。特に「反復横とび」を重点課題と位置付けて学校全体で計画的に取り組んだ。学校の取り組みとしては、委員会が主催した「竹馬の日」「なわとび検定」の日を設定した休み時間の取り組みや日々の授業の中で俊敏性を意識した運動ができるように構内研修を実施した取り組みである。長年継続して上記2点に取り組んだことにより、「反復横とび」の記録が昨年度と比較すると約4ポイント向上した。「反復横とび」での一定の向上が見られたが、「20mシャトルラン」での大阪市平均・全国平均のポイントの差が大きく開いていることが課題である。今後も、継続して学校全体で俊敏性を意識した運動量の確保と、新たに「20mシャトルラン」の記録を改善する必要があることが今回の結果から分かった。